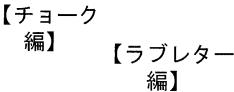
I.テレビCM (夏期キャンペーン)







I.テレビCM (冬期キャンペーン)

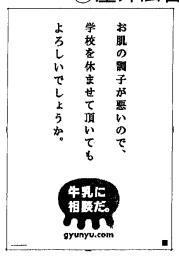


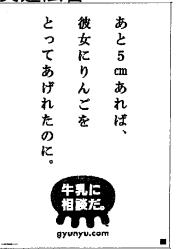
【シンクロ 編】 【チョーク



川. コンタクトポイント展開 新コピー開発(約200種)

①屋外広告・交通広告





徹夜で100点。お肌は0点。



雪だるまが乗ってるよ、と 子供に指をさされました。



②車両広告

ボクのお腹も停車中。



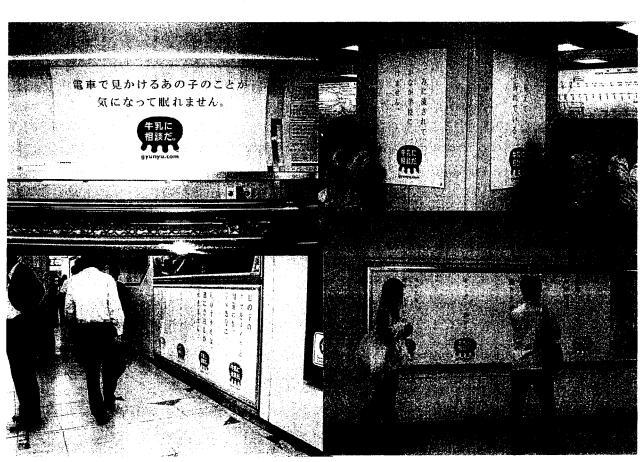
眠りは浅いが、 居服りは深い。



おばあさんに 席をゆずられました。



11. コンタクトポイント展開 交通広告 屋外広告



11. コンタクトポイント展開 ステリートメディア開発



11. コンタクトポイント展開

言 ダ

いイ

息上

張工ゆ

るッす

子だを

往

乏

l)

母親向け新コピーの開発 ③店頭POP用

りまだに大きいままだけきめに







昼 夜

眠眠

っれ

てな

いいは

う

ち

ſ.



俥

II

世

身

Æ

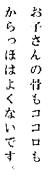
成

ήt





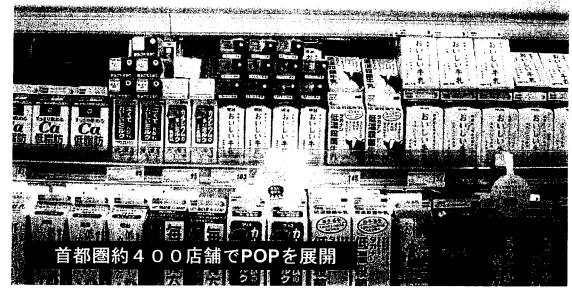






II. コンタクトポイント展開 母親対策 店頭POP





Ⅲ.酪農家などチャネルメンバーによる活動





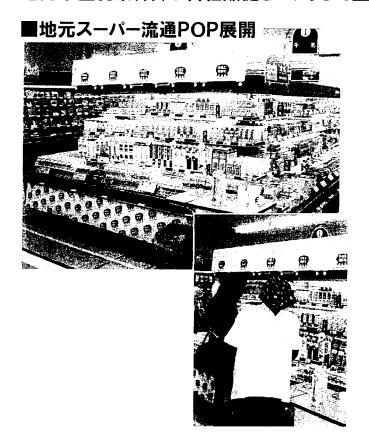




57

IV. モデル地区での活動 《横浜》

地元中堅乳業(株)が自社販促とコラボして主体的に実施



■スポーツイベントでのツール展開





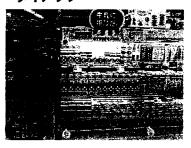
Ⅳ. モデル地区での活動 《新潟》

地元農協及び農協系乳業主体の展開

■アルビレックス新潟コラボレーション



■地元流通チェーンとの タイアップ

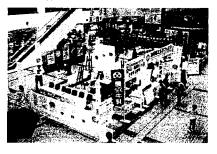


■駅貼ポスター掲出



新潟スタジアムにポスター掲出

■地域イベントとのタイアップ



その他

■BSN、fmPORTでのラジオCM

■「農協牛乳」パック広告

Ⅳ. モデル地区での活動 《京都》

地元農協及び牛乳販売店がコラボして展開

■交通広告&OOH

- ●京都タワーホテル懸垂幕
- ●京都オリジナルコピーによる交通広告 ・駅貼り: JR京都、二条駅、市営地下鉄、京阪電鉄、 京福電鉄、阪急電鉄、近畿日本鉄道
 - ・まど上額面:市営バス、京福電鉄
 - ・12連貼りポスター: 京都市営地下鉄/京都、四条駅



■ツールサンプリング

- ●祇園祭、西京極球場「京都パープルサンガ」など、地 域・スポーツイベントや酪農関係イベントを中心に、サン プリングや試飲実施を活発に実施
- ●府内の大学サークルにビブスを提供
- ●他、多数のイベントで活発にツールを活用



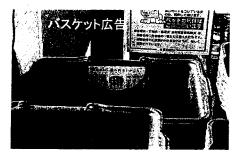
Ⅳ. モデル地区での活動 《京都》

■量販店、流通対策

●京都産原乳のみ使用「京都松原牛乳」(200ml)を、府内のCVS・ファミリー マート140店舗で2ヶ月間販売 ●Aコープ7店舗で流通POP設置とプレゼント、 スーパーマツモト15店舗・にしがき27店舗でバスケット広告を実施 ●京都 生協(Aコープ)23店舗で、流通POP、パネルなどのディスプレイを実施

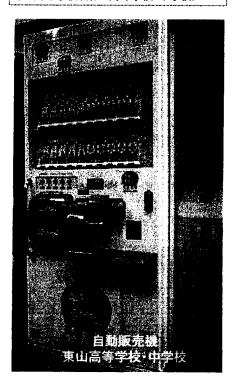






■自動販売機

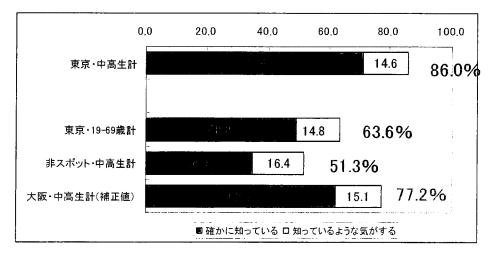
●府内の学校2校に、「京都松原牛乳」専 用の自動販売機を2台設置(京都文教中学 校·高等学校、東山高等学校·中学校)



キャンペーン認知度の状況

THE RESERVE OF THE PARTY OF THE

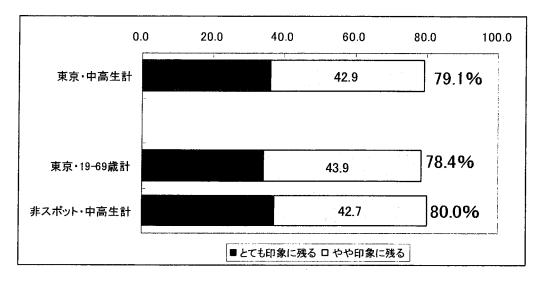
- ①関東エリアでは、TVCMの投下量を減少させたにもかかわらず、認知は前回同様、高水準を維持。
- ②新たにTVCMを集中投下した、関西・中京など準スポットエリアでは、10%以上、認知が向上。
- ③テレビスポットを投下していないエリアにおいても、チャネルメンバーの取り組み等によりが50%の認知率。



今回計 (06年8 月)	前回 計 (06年2 月)	前々回 計 (05年9 月)
86.0	84.0	63.1

63.6	66.1	49.9
51.3	35.2	22.5
77.2	_	

エリアにかかわらず、キャンペーン認知者に高い印象度を与えた。 「まずはキャンペーンに振り向いてもらう」状況は、狙い通りに作る ことができている。



今回	前回	前々
計	計	回計
(06年	(06年	(05年
8月)	2月)	9月)
79.1	84.7	78.3

78.4	77.8	77.6
80.0	74.3	83.3

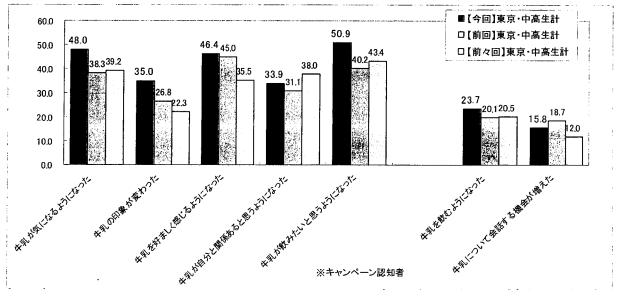
63

キャンペーンによる意識・行動変化の状況(1)

関東の中高生においては、牛乳に対する意識の変化、飲用意 向の向上が見られる。

しかし、具体的な行動の変化までは効果が不十分。





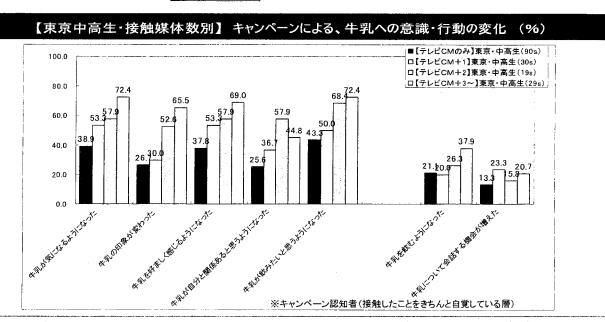
CM+3~接触·牛乳飲用意向

72.4%

CMのみ接触・牛乳飲用意向

43.3%

複数メディアの組み合わせによるシナジー効果が明確に現れており、戦略の成果が出た。



「多様性・反復性・選択性」と「コンタクトポイント」の関連性の解明が必要

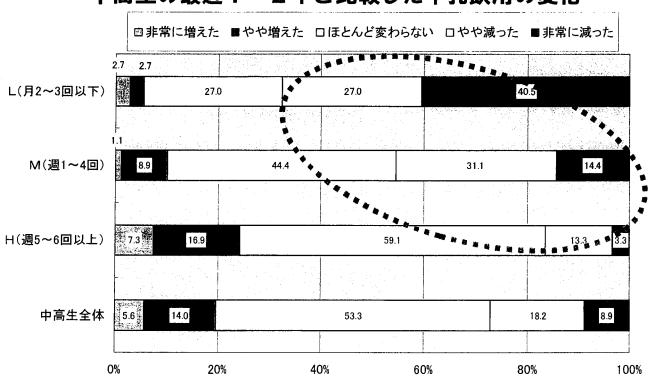
65

3年目(07年度)の活動計画

戦略補強のための事実確認

飲用減少が顕著なのはM・Lユーザーだった。

中高生の最近1~2年と比較した牛乳飲用の変化



Ţ